

政府CIO補佐官を希望される方へ

現政府CIO補佐官から政府CIO補佐官への就任を考えている方々へのメッセージです。

■政府CIO補佐官に興味をもったきっかけや志望した理由

- 国の仕組みを変えるというスケールの大きな仕事ができるから。
- 民間企業でシステム開発をしてきた経験を活かし、行政業務の生産性や国民サービスの向上に貢献してみたいと思ったから。
- 民間では情報システムが企業経営戦略となっている一方、政府はその進化のスピードに追いついていない現状に自分の経験を活かしたかったから。
- 政府のIT活用が遅れており、民間視点で大きく変えられる可能性があったから。
- 少子高齢化などの様々な社会問題に対し、自らの強みを活かして情報通信技術の可能性を十分に引き出し、諸課題の解決に貢献できると考えたため。
- 有識者として政府、地方公共団体と関わり、30代のうちに政府の一員として政策プロセスの一層の理解と取り組んだ成果を具体的な形にしたいと考えたため。
- IT技術者、ITコンサルタントとして、政府は最も困難かつやりがいのある職場と考えたから。

- 政府において、必ずしも円滑に機能していない業務・システムの現状に多様な観点から助言・推進する立場としての政府CIO補佐官の存在意義が大きいものと考えたため。

■政府CIO補佐官として困難だったこと。また、その課題をどう乗り越えたか

- 予算要求時期と予算執行時期にタイムラグが発生する予算制度や組織の縦割りなど政府特有の環境への適応が困難であったが、職員との密接なコミュニケーションや先輩政府CIO補佐官へ相談することにより少しずつ乗り越えた。
- 前例踏襲など変革の難しい役所特有の文化を超えて職員のマインドを変えることが大変だった。具体的なイメージやリスクへの対応を専門的知見から粘り強く説明することで乗り越えている。
- 政府情報システムは利便性や費用対効果の高い国民サービスの提供が求められる一方、国民生活へ大きな影響を及ぼす恐れのあるセキュリティ対策も求められバランスが難しい。民間企業で培った経験から事実を詳細かつ正確に把握し、的確な判断が求められる。



- 歴代の政府C I O補佐官が築き上げてきた素地の上、世の中の動向、最新技術に関する情報収集や自己啓発を行い、時には新たな取り組み方を発掘・実践することが更なる成果につながっている。
- 省内のITガバナンス体制を改善するにあたり、他府省の状況把握が必要であったが、デジタル・ガバメント技術会議等で他の政府CIO補佐官と現状や取り組みに関する情報交換や意見交換をする機会が増え、視野の拡大に非常に役立っている。
- 政府CIO補佐官として政府全体の事を考える一方、府省担当補佐官として一府省の実務を考える必要があり、両者の立場から状況によってうまくコントロールしなければならない。内閣官房IT総合戦略室や他の政府CIO補佐官と相談しながら課題解決をする必要がある。

■採用希望者へメッセージ・応募に当たってのアドバイス

- デジタル技術の急速な進展の中で政府はもちろん社会を変えていく大きな可能性を持ったポジションです。トップレベルの行政官や他の政府CIO補佐官と議論することは非常に刺激的であり、扱う課題の範囲も広く飽きない仕事です。成果の実現が求められる厳しい仕事ですが、組織や肩書や年齢でなく実力で勝負したい挑戦者を募集しています。
- 政府CIO補佐官は単なるITアドバイザーではありません。関係する組織、業務、文化を知り、これまでの経験、知見、実績、市場動向を踏まえて組織横断の多種多様な課題解決に取り組む舵取りでありエンジンです。その意義を希望者の方々が理解し、その発揮する成果に対して熱い思いをもって応募いただくことが皆様の関係者の理解を助けるに違いありません。

- どのような分野であれIT技術を仕事で身に付けてきた者にとって一番の喜びは自らの経験やノウハウを生かし社会の仕組みや既存の枠組みを変えていく力になることではないでしょうか。今年、官民データ活用推進計画やデジタル・ガバメント推進方針で国は新たなIT戦略の舵を切っており、その推進に魂を入れられるのは民間で様々な経験を積んできた人材です。共に集い、知恵を出し、新たなデジタル・ガバメントの推進に貢献しましょう。
- 経営者である自分が政府CIO補佐官勤務のために会社から離れるのは、非常にリスクのある試みでしたが所属会社自体の変革機会にもなり得ると判断し、応募することを決めました。結果、多忙を極めているのは否めませんが、自身の知見が大きく広がるのを実感し、また、所属会社においても社員の自主性向上など、期待以上の効果が出ています。迷っている方は、是非一步踏みだしてチャレンジしていただきたいです。それだけのやり甲斐とメリットのある環境です。
- 応募に当たっては、これまで自分が何に取り組み、その結果どのような成果を出したのか。また、政府CIO補佐官として自分は何ができるのかをアピールしてください。幅広い専門知識・技術と豊富な経験を活かし、自ら問題意識をもって行動できる方が求められています。